

STAND BY YOU
その想いを、ともに描く。

コロナ禍でも
実りある学生生活を



駅伝部「第100回関東インカレ」結果 (吉田光汰選手(法4年)優勝)

5月23日(日)に行われた「第100回関東学生陸上競技対抗選手権」の「男子2部3000m 障害」決勝にて、吉田光汰選手(法4年)が優勝、上野航平選手(法3年)が3位となりました。また松井尚希選手(法4年)が1500mで5位、吉田礼志選手(法1年)が5000mで7位に入賞しています。新ユニフォームに変わり心機一転、箱根駅伝でのシード権獲得をチーム目標とし、日々練習に励んでおります。引き続き応援よろしくお願いいたします。



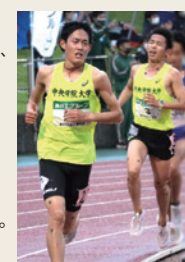
男子ゴルフ部「第58回全国大学ゴルフ対抗戦」 出場決定

5月22日(土)～23日(日)に行われた「関東春季Aブロック対抗戦」にて5位となり、「第58回全国大学ゴルフ対抗戦」への出場権を獲得しました。第58回全国大学ゴルフ対抗戦は、6月24日(木)～25日(金)に片山津ゴルフ倶楽部(石川県加賀市)にて開催され、全国から18校が参加します。引き続き応援よろしくお願いいたします。



駅伝部「第53回全日本大学駅伝対校 選手権大会」出場決定

6月19日(土)に行われた「第53回全日本大学駅伝対校選手権大会関東学連推薦校選考会」にて、3時間57分23秒16で総合6位となり、9大会連続15回目となる全日本大学駅伝への出場権を獲得しました。「第53回全日本大学駅伝対校選手権大会」は、11月7日(日)午前8時05分スタート。愛知・熱田神宮から三重・伊勢神宮までの8区間106.8kmで競います。皆さまの熱いご声援をお願いいたします。

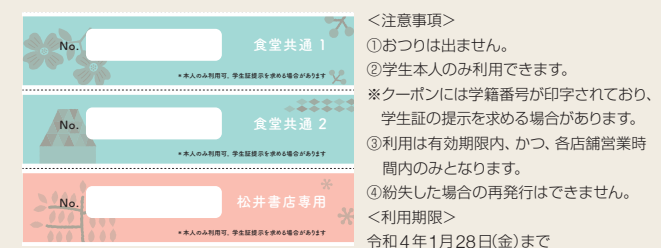


対面授業支援クーポンの配付について

対面授業の一部再開にあたり、中央学院大学後援会(保護者の会)では、対面授業を受ける学生への補助として学生会館内で利用できるクーポンを配付することといたしました。6月に在学生全員に郵送いたしましたので、クーポンを切り取ってご利用ください。※留学生は国際交流センターにて配布します。受け取りの際は、学生証を持参してください。

クーポン内容

- 1.華和・CGU café 共通クーポン 500円券×2枚
2.松井書店専用クーポン 500円券×1枚



博物館・美術館のキャンパスメンバーズについて

本学は東京国立博物館と国立美術館のキャンパスメンバーズに加盟しています。教職員証・学生証を提示すれば常設展は無料、特別展は割引などの特典が受けられます。博物館や美術館を有効に活用し、学生の皆さんの研究活動や文化活動が充実することを目的としています。ぜひ積極的に利用してください。



東京国立博物館
<https://www.tnm.jp/>



国立美術館
<https://www.campusmembers.jp/>



中央学院大学公式Instagramについて

この度中央学院大学公式のInstagramが開設されました。大学の様々な写真を投稿いたしますので、是非ご覧ください。また、その他SNSも随時更新中です。

 https://www.instagram.com/chuo_gakuin_university/

 <https://twitter.com/chuogakuinuniv>

 <https://ja-jp.facebook.com/cguuniv/>



CGU Event Focus



今回は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった学位記授与式と入学式。
今回は式典を午前（大学院と商学部）と午後（法学部と現代教養学部）に分け、座席間隔を十分にとり、教職員と学生のみでの出席ではありましたが、感染対策を徹底して開催することができました。

4月2日
(金)

入学式



4月2日（金）に令和3年度入学式が執り行われ、大学院商学研究科、商学部、法学部、現代教養学部あわせて809名の新入生を迎えました。式典後には、プライムセミナー（新入生向けガイダンス）が行われ、授業の履修に必須となるシステム（CGUポータルやTeams）の使い方、また学部によっては英語や情報のクラス分けテストが行われました。

3月20日
(土・祝)

学位記授与式



3月20日（土・祝）に令和2年度学位記授与式が執り行われ、大学院商学研究科9名が修了、商学部、法学部、現代教養学部の学部生589名が卒業しました。



OPEN CAMPUS

日程：7月11日(日) 8月1日(日) 8月15日(日) 9月5日(日) 9月26日(日)
時間：10:00～15:00



全日程、オンラインでも同時開催します。
参加は、事前予約制となります。
※日程・内容が変更となる場合があります。
詳細や申込方法は本学のホームページでご確認ください。

第54回あびこ祭

10月23日（土）～24日（日）に開催予定のあびこ祭（大学祭）は、開催に向けてあびこ祭実行委員会を中心に話し合いを進めておりますが、今後の新型コロナウイルス感染状況を考慮した上で、総合的に判断していく予定です。詳細が決まり次第、本学のホームページにてお知らせします。

商学部



講師 山根 啓太

分野	主な担当科目
応用ミクロ経済学	経済政策 経済原論(近代経済学)

皆さんは、今まで日常生活におけるあらゆる場面において、さまざまな疑問を抱いてこられたと思います。大学とはいわばそれらを追究する場所と言えます。これは大学生の特権の一つです。時に考え、質問し、本を読み、そしてまた考えてみる。このような思考の訓練が、皆さんの今後に向けての糧になると思います。



講師 堀井 誠史

専門分野	主な担当科目
西洋経済史 ドイツ経済史	経済学史

今年度より着任しました堀井と申します。よろしく申し上げます。昨年度より、いわゆるコロナ禍の影響で日常生活が大きく制限されています。それでも大学には自身を成長させるためのチャンスがたくさん転がっています。自身を成長させ、またコロナ禍後の世界で活躍する準備を整えられるよう、共に頑張っていきたいと思います。



准教授 中野 健秀

専門分野	主な担当科目
教育工学／地球科学 災害情報学	情報リテラシー／情報処理論 情報数学／経営数学 メディアデザイン／システム設計論

4月に着任いたしました中野健秀です。情報化社会と言われる昨今、ネットで検索すれば労せず多くの情報に辿り着くことができます。大学での学びが受動的になっていませんか。答えを探すことも大切ですが、自ら「問いを立てる」ことに重きを置いてみましょう。「良き問い」がみつければ、きっと大学生活が充実したものになるでしょう。

新任教員紹介

コロナ禍でも
実りある学生生活を

学長 市川 仁

ICHIKAWA Hitoshi

この一年、コロナ禍という全世界がこれまで経験したことのない大きな波にのまれ、混乱不安の中での日々が続いています。本学でも昨年度以降さまざまな対策、対応を余儀なくされましたが、改めて令和3年度前期を振り返りたいと思います。

まず昨年度は中止せざるを得なかった入学式ですが、今年度は4月2日に本学体育館で開催しました。大学院商学研究科、商学部、法学部、現代教養学部あわせて809名の新入生を迎えることができました。とはいえ、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、式典を午前と午後の2回に分け、また新入生のみでの出席に制限し、内容も簡素にしましたが、新入生の皆さんの顔を見ることができたのは大変喜ばしいことでした。

春セメスター（前期）の授業においては、原則すべての授業を対面で実施するという方針のもと三密を避ける取り組みを行いました。履修人数にあわせ、学生が一人おきで座れるよう教室を割り振るとともに、机の消毒をはじめ、換気を徹底するために、教室の入り口のドアなどは開け放し、窓や窓側に設けられた換気窓を開けるなどの安全対策を講じました。こうして90%以上の授業を対面で実施し、たくさんの方が入学し、大学生活がスタートしました。

キャンパスに集いました。特にお昼時には、学食やキッチンカーの前に学生が並ぶ姿や、お弁当を広げて談笑する姿が見られ、「大学はこうでなければ」と再認識しました。あるべきキャンパスの姿に一年振り返り、教職員一同、心浮き立つ思いでした。

4月20日の「まん延防止等重点措置」発令後も、少人数クラスおよび教育上必要と判断される科目等で対面授業を継続してきましたが、4月25日に東京都など1都3府県に「緊急事態宣言」が発令されたことにより、学生教職員の安心・安全を守ることを最優先に、5月31日まですべての授業をオンラインに変更しました。6月1日以降は原則オンラインながら、ゼミ形式の授業など一部の科目で対面授業を再開しました。状況次第ですぐにオンラインに切り替えられるよう態勢を整えながらも、秋セメスター（後期）の最初の授業は、すべて対面で行えればと思っています。

学生の皆さんには、コロナ禍にあっても、好奇心にあふれた豊かな学生生活を送っていただきたいと思っています。感染拡大の予防に最大限配慮しながら、これからも本学は「STAND BY YOU」のローガンのもと、できる限り皆さんとふれあひながら、多くの人と出会う機会を提供し、質の高い教育を提供していく所存です。

よりよい 学生生活を送るために

学生サポートセンター長
葉山 大地 准教授



Profile

葉山 大地 HAYAMA Daichi
学生サポートセンター長(2021年4月～)
商学部准教授、学生相談室カウンセラー
2004年 専修大学文学部心理学科卒業、
2010年 筑波大学大学院 人間総合科学
研究科 心理学専攻 博士課程 修了、
2014年 茨城大学大学院教育学研究科
学校臨床心理専修 修士課程修了。臨床
心理士、公認心理師取得
主な担当科目/心理学I-II、心理学概論I-II、
教育心理学
現在の研究テーマ/対人コミュニケーション
における「開放性」について

学生サポートセンターは、主に3つの業務を行っています。1つ目は学校生活全般に関する相談への対応です。たとえば年度初めの慣れない時期、特に新入生は「どの授業を履修すればいいか」とか、「CGUポータルの使い方が分からない」などの不安にかられると思います。その時にアドバイスしてくれるのが先輩のピアサポーターです。年度末には、次年度にどのような勉強したらいいかをピアサポーターと話す相談会もあり、具体的なアドバイスが受けられます。

2つ目は学習支援が必要な学生への対応です。日々の授業で「ついていけない」と感じたり、「どうレポートを書けばいいのかわからない」といった相談にに応じています。中には「先生には直接連絡しづらい」という学生もあり、そうした場合はサポートセンタースタッフが先生と学生との橋渡し役を務めます。そして3つ目は、出席不良の学生への対応です。「必修授業に出席していない」など先生方から連絡のあった学生に対し、電話などで様子を聞き、解決方法を一緒に探っていきます。どの場合も、学生サポートセンターだけで解決できない場合は、他部署と連携をとって解決に導いていきます。また障害学生支援の窓口にもなっていますので、まずは学生サポートセンターを訪ねて欲しいですね。

生活の中で悩みが生じるのは誰にでもあることですが、「悩みを人に相談するのは恥ずかしいこと」とか「こんなことを聞いてはいけないのでは?」といった相談を躊躇するという人も一定数います。特にスポーツ系の学生には「自分でなん

とかしよう」という克己心が強い人も多いですね。でも、自分だけで解決できない悩みにぶつかったときには、「相談」という選択肢を持つて欲しいのです。人に相談することは決して恥ずかしいことではなく、状況を好転させ、自分が変わるチャンスと考えてください。

特にコロナ禍の今は、「なかなか友人が作れない」といった人間関係の悩みが増えていきます。キャンパスに通えなかったり、オンライン授業により人と関わる機会が少ない状況では、意識的に取り組まないとなかなか人間関係が築けません。学生サポートセンターは友人づくりの場としても機能しています。先輩たちと交流し、頼れる相手を見つけることでその後の大学生活をより有意義で、充実したものにしたいと思っています。

学生の皆さんは、一人ひとりがそれぞれ素晴らしいものを持っています。何らかの理由や悩みで、その潜在的な良さを発揮できず自信を失ってしまうのはもったいない。学生サポートセンターは、そうした悩みや問題を解決して新しい一歩を踏み出すためのお手伝いができればと考えています。そしてセンター長として、そうした学生生活を支える体制づくりを一層強化していきたいです。

なお、本学には主に心の悩みに対応する学生相談室もあります。私自身も週1回カウンセリングを務めていますし、茶話会やクッキング企画なども行っていますので、こちらも気軽に利用していただきたいと思います。

学生相談室は、学生生活をよりよくするために、さまざまな相談に応じて、交流を深めるイベントを企画しています。詳しくは本学のホームページをご覧ください。

学生サポート センター

学生サポートセンターは、30周年記念館(6号館)1階にあり、キャンパスライフでぶつかるさまざまな問題に対応してくれる場所です。わからないことを質問したり、悩みを聴き解決方法を共に考えてもらえる相談窓口として、困ったことがあればまず足を運んでください。保護者の方からの相談もお受けしていますので、お気軽にご相談を。

どんな相談にも応じます



たとえば「単位の取り方がわからない」「授業についていけない」「友人ができない・友人関係がうまくいかない」「部活・サークル活動で悩んでいる」など、日々の生活の中にあるさまざまな悩みや困りごとに、職員スタッフが対応します。相談内容によっては学生相談室をはじめ、学生課や教務課、就職課など、関連する部署とも連携。また直接先生には話づらい悩みを学生から聴き、授業を担当する先生に伝える橋渡しをすることも。学生と大学をつなぎ、問題の根本的な解決へと導きます。

ピア・サポーターは 力強い味方



気軽に
相談を

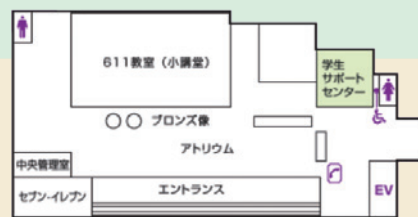
先生や職員スタッフには話づらいことでも、学生同士なら気軽に話せますよね。学生サポートセンターには充実した大学生活を送るためのアドバイスをする学生スタッフ(ピア・サポーター)があり、自分の経験に基づいたアドバイスしてくれます。勉強に関する相談や授業内容はもちろん、講義の受け方やノートの取り方といった細かい質問や、就職・公務員試験などに関する体験談も。また、例年は新2年生対象学習支援(3月)、「なんでも相談コーナー」、春と秋の交流会(5月・10月)なども実施。交流会などのイベントはチラシやポスターで広報し、当日も学内放送でPRするなどして、広く学生の参加を呼びかけています。※今年は、新型コロナウイルスの影響により、学習支援・何でも相談コーナー・春の交流会が中止となりました。

待ち合わせ場所や 自習室としての利用も



学生サポートセンターでは、単なる学習支援にとどまらず「学生同士が待ち合わせる場所」や「憩いの場」としての空間を提供しています。パソコンも設置されているので、自習室としての利用にも最適。授業の合間や放課後には、ピア・サポーターをはじめ多くの学生が集まっており、学部・学科や学年の枠を超えた友だち作りの場にもなっています。「くつろげる場所」で学生同士、人生や進路などについて自由に話し合い、よりよい学生生活を送って欲しいと願っています。

学生サポートセンター
(平日9:00～17:00)



30周年記念館(6号館)1階
※談話室(625教室)
TEL:04-7183-6508
Mail:support@adm.cgu.ac.jp

財務情報

◆ 令和2年度 資金収支計算書(決算)

令和2年4月1日～令和3年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,225,708,900	人件費支出	3,336,044,902
手数料収入	104,811,071	教育研究経費支出	1,328,685,064
寄付金収入	84,329,949	管理経費支出	359,707,844
補助金収入	883,876,321	借入金等返済支出	9,407,030
資産売却収入	1,163,237,164	施設関係支出	74,688,000
付随事業・収益事業収入	96,000	設備関係支出	26,097,343
受取利息・配当金収入	114,269,866	資産運用支出	163,131,280
雑収入	347,684,552	資金支出調整勘定	5,504,989,987
借入金等収入	0	その他の支出	207,337,412
前受金収入	1,017,750,000	予備費	0
その他の収入	4,479,998,358	資金支出調整勘定	△387,713,598
資金収入調整勘定	△1,289,256,539		
前年度繰越支払資金	1,968,140,061	翌年度繰越支払資金	2,478,270,439
収入の部合計	13,100,645,703	支出の部合計	13,100,645,703

◆ 令和2年度 活動区分資金収支計算書(決算)

令和2年4月1日～令和3年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,225,708,900	借入金等収入	0
手数料収入	104,811,071	特定資産取崩収入	1,423,256,160
特別寄付金収入	50,094,949	預り金受入収入	31,776,073
一般寄付金収入	30,035,000	仮受金受入収入	2,658,840
補助金収入	875,546,531	経常費等補助金売却収入	889,639,567
付随事業収入	96,000	引当特定資産売却収入	273,597,597
雑収入	314,180,354	為替差益収入	222,797
教育活動資金収入計	5,600,472,805	その他上記以外の収入	33,281,401
人件費支出	3,336,044,902	小計	2,654,432,435
教育研究経費支出	1,328,685,064	受取利息・配当金収入	114,269,866
管理経費支出	358,987,844	その他の活動資金収入計	2,768,702,301
教育活動資金支出計	5,023,717,810	借入金等返済支出	74,688,000
差引	576,754,995	短期有価証券購入支出	592,926,200
調整勘定等	99,637,024	引当特定資産購入支出	1,798,650,562
教育活動資金収支差額	676,392,019	仮受金支払支出	439,230
小計		小計	2,466,703,992
		借入金等利息支出	9,407,030
		為替差損支出	720,000
		その他の活動資金支出計	2,476,831,022
		差引	291,871,279
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	291,871,279
		支払資金の増減額	510,130,378
		(小計+その他の活動資金収支差額)	
		前年度繰越支払資金	1,968,140,061
		予備費	0
		翌年度繰越支払資金	2,478,270,439
		収入の部合計	10,699,050,378
		支出の部合計	10,699,050,378

◆ 令和3年度 資金収支予算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,526,874,000	人件費支出	3,189,066,000
手数料収入	135,217,000	教育研究経費支出	1,532,975,000
寄付金収入	96,700,000	管理経費支出	444,325,500
補助金収入	876,839,000	借入金等返済支出	8,549,000
資産売却収入	560,000,000	借入金等返済支出	74,688,000
付随事業・収益事業収入	5,000,000	施設関係支出	47,800,000
受取利息・配当金収入	90,346,000	設備関係支出	144,786,000
雑収入	160,186,000	資産運用支出	2,052,000,000
借入金等収入	0	その他の支出	356,990,211
前受金収入	1,014,050,000	(予備費)	0
その他の収入	1,888,120,939	資金支出調整勘定	△117,566,232
資金収入調整勘定	△1,132,553,000		
前年度繰越支払資金	2,478,270,439	翌年度繰越支払資金	2,965,436,899
収入の部合計	10,699,050,378	支出の部合計	10,699,050,378

◆ 令和3年度 活動区分資金収支予算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,526,874,000	借入金等収入	0
手数料収入	135,217,000	特定資産取崩収入	427,000,000
特別寄付金収入	66,000,000	短期有価証券売却収入	430,000,000
一般寄付金収入	15,200,000	その他の雑収入	22,000,000
経常費等補助金収入	874,189,000	(教育活動外)	
付随事業収入	5,000,000	引当特定資産売却収入	130,000,000
雑収入	138,186,000	為替差益収入	13,000,000
教育活動資金収入計	5,760,566,000	小計	1,009,000,000
人件費支出	3,189,066,000	受取利息・配当金収入	90,346,000
教育研究経費支出	1,532,975,000	その他の活動資金収入計	1,099,346,000
管理経費支出	444,325,500	借入金等返済支出	74,688,000
教育活動資金支出計	5,166,366,500	短期有価証券購入支出	400,000,000
差引	594,299,500	引当特定資産購入支出	427,000,000
調整勘定等	△84,611,040	仮受金支払支出	901,688,000
教育活動資金収支差額	509,688,460	借入金等利息支出	8,549,000
小計		その他の活動資金支出計	910,237,000
		差引	189,109,000
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	189,109,000
		支払資金の増減額	487,166,460
		(小計+その他の活動資金収支差額)	
		前年度繰越支払資金	2,478,270,439
		予備費	0
		翌年度繰越支払資金	2,965,436,899
		収入の部合計	10,699,050,378
		支出の部合計	10,699,050,378

令和2年度 事業活動収支計算書(決算)

令和2年4月1日～令和3年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

教育活動収入	事業活動収入の部	科目	金額	事業活動支出の部	科目	金額
		学生生徒等納付金	4,225,708,900		資産売却差額	111,987,497
		手数料	104,811,071		その他の特別収入	18,032,501
		寄付金	81,152,580		特別収入計	130,019,998
		経常費等補助金	875,546,531		科目	金額
		付随事業収入	96,000		資産処分差額	18,446,302
		雑収入	314,180,354		その他の特別支出	0
		教育活動収入計	5,601,495,436		特別支出計	18,446,302
		科目	金額		特別収支差額	111,573,696
		人件費	3,367,448,983		(予備費)	
教育研究経費	1,756,474,409	基本金組入前当年度収支差額	296,284,773			
管理経費	430,508,001					
徴収不能額等	0	基本金組入額合計	△196,930,331			
教育活動収支差額	5,554,431,393					
教育活動収入	事業活動収入の部	科目	金額	事業活動支出の部	科目	金額
		受取利息・配当金	114,269,866		当年度収支差額	99,354,442
		その他の教育活動外収入	33,504,198		前年度繰越収支差額	△16,130,330,797
		教育活動外収入計	147,774,064		基本金取崩額	0
		科目	金額		翌年度繰越収支差額	△16,008,976,355
		借入金等利息	9,407,030		(参考)	
		その他の教育活動外支出	720,000		事業活動収入計	5,879,289,498
		教育活動外支出計	10,127,030		事業活動支出計	5,583,004,725
		教育活動外収支差額	137,647,034			
		経常収支差額	184,711,077			